

○ サンショウ（山椒）



語源

サンショウ属 *Zanthoxylum* の Zantho- は、Xantho- と同じ。前半の部分は、ギリシャ語の形容詞 クサントス「黄色い」に由来する。後半の部分はギリシャ語 クシュロン「木、木材」から。「黄色い木」の意味で、サンショウ属のいくつかの種の根は「黄色の染料」として用いられてきたことに基づく。種小名 *piperitum* は、「コショウのような」の意。山椒の椒は、木に叔（小さい実）のなる木を表す。山椒の「椒」は「ハジカミ」とも読み、種々の辛いもの、例えばサンショウやショウガ（生姜）を表した。しかし、ショウガと区別するため、山のハジカミ→「山椒」になったとされる。

基原

Zanthoxylum piperitum De Candolle サンショウ
ミカン科 落葉低木

変品種が多く、生薬調製用として日本産の代表種は *Z. piperitum* DC. f. *inerme* Makino アサクラザンショウで、但馬国朝倉山で見つけられたサンショウであり、棘はなく、個々の果実が大きく、芳香は強い。豊産性である。また、ブドウサンショウという品種がある。アサクラザンショウから派生した系統であり、果実の粒形は大形で、果穂も大きく豊産性である。近年この木から薬用山椒が採集されている。



薬用部分

果皮

薬用には果柄や種子がよく除かれているものを用いる。

産地

日本（和歌山、高知、大分、京都、奈良など）

主な成分

精油： リモネン、シトロネラル、β-フェランドレン、ゲラニオールなど
辛味物質： α-サンシオールなど
フラボノイド配糖体： クエルシトリン、アフゼリン、ヘスペリジン

主な薬効

健胃、整腸、利尿、鎮痛、駆虫

代表的処方

芳香苦味健胃薬として苦味チンキの原料とする。粉末は配合剤（胃腸薬）として用いる。また、漢方処方薬でもあり、鎮痛鎮痙薬、駆虫薬とみなされる処方に少数例配合されている。

【大建中湯】

ダイケンチュウトウ
体力虚弱で、腹が冷えて痛むものの次の諸症： 下腹部痛、腹部膨満感
（処方内容） 山椒／人参／乾姜／膠飴

【中建中湯】

チュウケンチュウトウ
体力中等度以下で、腹痛を伴うものの次の諸症： 慢性胃腸炎、下痢、便秘
（処方内容） 桂皮／芍薬／甘草／大棗／山椒／乾姜／人参

【椒梅湯】

ショウバイトウ
回虫の駆除
（処方内容） 烏梅／山椒／檳榔子／枳実／木香／縮砂／香附子／桂皮／川楝子／厚朴／甘草／乾姜

※参考文献：「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp